



| | |
|--------------|---|
| Title | 癌と人 第26号 目次 |
| Author(s) | |
| Citation | 癌と人. 1999, 26 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/23847 |
| rights | |
| Note | |

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

第 26 号 目 次

◎ 題 字 ◎

財団法人 大阪癌研究会
理事長 千代 賢治



* 表紙絵解説

「蟹」のいわれ

蟹の絵は川俣順一大阪大学名誉教授にお願いして描いてもらったものである。

癌に関する学会のシンボルマークに蟹の図案化したものがよく用いられている。

癌と蟹の関係の歴史は遠くギリシャ時代にさかのぼる。ギリシャの医聖ヒポクラテス著述のところどころに、今日私どもがいう癌と思われる記録がある。ヒポクラテスはそれを「カルキノス」と呼んでいる。カルキノスというのは日常一般に用いられていた言葉で、蟹のことである。ヒポクラテスが記述しているという病気（癌）の格好が蟹に似ていたのでそれを呼び名とした。

今日、欧米では日本でいう癌をカルチノーマと呼んでいる。それはカルキノスと言葉からきたもので、両者は同義語である。

ヒポクラテスはカルキノス（蟹）という日常語を純然たる医学語とした人である。癌と蟹の関係はそれ以来続いている。

- ごあいさつ 1
千代 賢治
- 内分泌攪乱化学物質をめぐる生活と食の安全について 2
田口 鐵男
- 増えるがんと減るがん 4
松本 圭史
- 医者の上手な選び方
—— 医者選びも寿命のうち 6
高井 新一郎
- 乳癌と女性ホルモンと環境ホルモン 9
奥平吉雄
- 免疫不全と癌 12
石黒 精
- ウイルス発癌と癌抑制遺伝子 14
井上 寛一
- 活力ある若い医学研究者を育てる難しさと楽しみ 16
郡 健二郎
- 相同DNA組換えにかかるRad51遺伝子のコンディショナルノックアウト細胞を使ったRad51タンパクの機能解析 18
武田 傑一
- 肝細胞癌と胆管癌の病理学的研究 21
寺田 忠史
- c-kit 癌原遺伝子の病理 23
廣田 誠一
- 平成9年度事業報告 大阪癌研究会 25
- 平成10年度収支予算書 27
- 平成9年度収支計算書等 28
- 平成10年度事業計画書 32
- 平成10年度寄附者御芳名 33
- 財団法人大阪癌研究会寄附行為 43
- (財)大阪癌研究会役員・評議員・賛助会員名簿 46